

平和学習について…平和講演会をおこないました。



昨日、講師の方を招いて子どもたちと先生方を対象に平和教育の講演会を体育館でおこないました。昨年度も同じような形で実施したのですが、今年は 2 時間目に低学年、3 時間目に高学年と 2 回にわけて行いました。講師は昨年同様、豊南連合自治会長の東村高明さんです。東村さんは本校の卒業生で、豊中が空襲を受けたときに在校されていました。講演会は、当時のニュース映像資料や低学年にはアニメの映像も使いながら、戦争中の様々な暮らしの様子や疎開、防空壕等々今では考えられないような当時の様子をパワーポイントの画像と、東村さんの話でつづっていきます。

内容の進行については進行台本があり、それに従い、教頭先生が東村さんに質問をなげかけるという形で進んでいきました。最後には、東村さんから子どもたちへ「平和への願い」を込めたメッセージをもらい終わりました。このあと子どもたちは教室に帰ってから、担任の先生と話をしながら今日の講演会での内容を振り返り、一人ひとりが「戦争とは何なのか」、「平和な世界を維持するためには…」等々考えをめぐらせてくれたことと思います。

とくに 6 年生は修学旅行で実際に広島へいき、一発の原子爆弾が一瞬にして街と命を奪った現実を目の当たりにしています。そして修学旅行で広島へいくにあたり、事前に戦争について様々な角度から学習をしました。こういった経験と昨日の、体育館での平和講演会での話がしっかりとつながってくれたのでしょうか。

「戦争」を過去のものとしてとらえるのではなく、なぜ、戦争がおこってしまったのか、またそれを回避することはできなかったのか、今も世界ではあちこちで戦争、戦闘がおこなわれている現実にもしっかりと目を向けることができるようになって欲しいと願っています。



☆☆☆6 年生対象に「平和学習」パート 2をおこないました！

さて、今年、この講演会での話をよりしっかりと心に刻んで欲しいと願い、6 年生を対象に昨日 3、4 時間目を使って家庭科室で、昨日の講師の東村さんの奥様とのお知り合いの早田さんに特別に講師をお願いして「戦争中の食事」を子どもたちに体験してもらうために、当時に近い味の「すいとん」を調理実習で作り試食しました。「すいとん」という言葉は聞いたことがあっても、実際に自分たちで作って食べる経験などない子どもたち。どんな反応を示すか？…

いざ、東村さん早田さんの指導で「すいとん」実習がはじまりました。材料は、水、小麦粉、少量の野菜(大根、にんじん、だいこんの葉っぱ、ねぎ少々)ですが、さすがにこれでは「味が」ないのでと東村さんらの配慮でごく少量のにぼしを使って出汁(だし)をとりました。材料を银杏切り(いちょうぎり)に自分たちでして、にぼしを加えてなべで煮立てていくと家庭室には、なかなか「いい香り」が立ち込めました。

さて、出来上がったところで皆で「いただきます！」…味の感想は？—「おいしい！！」と予想外の答え。普段、野菜をここまできれいに食べるとは思えないのですが、どの班も鍋がからっぽ！「おかわり」までして完食！

おそらく、普段あまり口にすることのないような「味」であったこともあるのかもしれません。このあとはしっかりと給食(今日はパンの日で洋食です)を食べたようです。しかし、今日の体験の中で、子どもたちが「戦争」の最中の暮らしの一端を少しでも感じてくれれば今日の実習は大成功です。

最後はきっちりと、指導していただいた東村さん早田さん(今日は昨日講演をしていただいた連合自治会長の東村さんもきてくださいました)にお礼を述べて「平和学習パート 2」を終えました。

6 年生の保護者の皆さん、もし時間があれば今日、この「平和学習パート 2」のことを子どもさんと是非、話してみてください！！

To be continued (次号に続きます)

